

休日、街に出掛けたらとんでもない格好をした
金髪の女を見つけたので思わず腕を掴み、声を
かけてしまった
振り向いた彼女はガチガチに勃起した俺自身を
見つめている

はっ…!? いいや…これは…

…いいですよ

え？

私、用事終わって帰る途中
だから…

かまいませんよ…せつくす…

♡プル♡♡

♡むち♡

♡よち♡

マ
ン
コ

A pink heart and the word 'LOVE' in a stylized, bubbly font, with a pink heart next to it.

ふたつ♡

轉載禁止



だって…あんなに…おつきくなったおちんちん
を見せられたら…どきどきしちゃう…

初めて恥ずかしそうな表情を浮かべた
彼女に、俺は度肝を抜かれた

(こ、こいつ…性根がドスケベ
なのか!?)

動揺した弾みで俺の手が
アナルのすぐ傍の肉を
押し広げるように動く
と彼女は

んううっ…♡

と身を振じらせ、
一向に萎む気配
のない俺の
ちんぽが彼女の
熟したマンコに

はっ♡

はっ♡

ずっぷりと挿入されている状態にも
関わらず尻を振った

はあ…♡ 元気なんですわね…♡

時間は

お気になさらないで下さい…♡

私、こんな気持ちいいコト、ずっと
していたいですから…♡

俺はちんぽを抜かないまま
セックスを続けた

転載禁止

それから激しい交尾にはまこ♡
明け暮れて、気づけば
大学の時間が近づいて
いた。

あ…もう朝なんですわね…
私…このまま、
せ、セフレというものに、
なりたいたんですけど…

え!?

私…この近くの大学に
通っていて…

驚いてしまったが急に胸が
踊りだしてきた。

家の近くの大学って…
とかの話どころじゃない
こ、これはつまり…!?

…あっ!
もしよければ、ですけど…
…いえ、お願いします

私、あなたと、
次も…♡♡

どろろ♡♡♡

ベチャ〜♡♡♡

どろろ♡♡♡

ドクッ